

5. 総評



青森県議会議長

工 藤 慎 康

3校の生徒の皆様、本日は令和7年度高校生模擬議会にご参加いただき、また、本会議場にお越しいただき、ありがとうございました。本来であれば、本年2月に開催する予定ですが、あいにくの悪天候により延期になりました。しかし、皆様いずれも、堂々とした素晴らしい政策提案や答弁だったと思います。

まず八戸工業大学第二高等学校の「やきとり県あおもり」についてですが、私もこのあと、やきとりを食べに行きたくなりました。消費量全国1位に着目した、観光業、畜産業の活性化や、鳥インフルエンザ対策の提案が新しく、素晴らしい提案でした。

続いて、青森県立木造高等学校の「医師不足を支える診療看護師の育成」については、深刻な医師不足を補うために、本県で診療看護師を育成し、運用するという着目点が素晴らしい提案でした。

最後に、八戸聖ウルスラ学院高等学校の「縄文から未来へ～雪国で学ぶSDGs～」については、冬の観光客が少ないという課題に、冬しか体験できないコンテンツを、教育旅行として提案するというアイデアが素晴らしい提案でした。

各校とも、どうすれば青森県をもっとよくできるか、若い感性で真剣に考えていただいた貴重な政策提言であり、県庁で働く職員にとっても、私たち県議会議員の活動にも、大いに参考になるものでした。

さて、本日の模擬議会を通じて、皆様には、住みよい青森県を実現するために、政治に興味を持っていただきたいと思います。そして、18歳という選挙権を持つ年齢になりましたら、主権者として選挙の投票を通じて、その一步を踏み出してください。皆様一人一人の力で、よりよい青森県にしていっていただけることをお願い申し上げます。まして、私からの総評といたします。

本日は誠にありがとうございました。